

地域課題の解決に向けた取組

造林作業等の軽労化・省力化への取組

渡島森林管理署

【はじめに】

渡島森林管理署は、渡島半島の中央に位置し、渡島総合振興局及び檜山振興局管内にまたがる7町（長万部町、今金町、せたな町、八雲町、森町、七飯町、鹿部町）の国有林143千ヘクタールの国有林を管理しています。

主な河川としては、日本海側に西流する後志利別川や内浦湾（噴火湾）に東流する遊楽部川が挙げられ、渡島半島最高峰の狩場山（1,520m）、第2峰の遊楽部岳（1,277m）を有しているほか、駒ヶ岳（1,131m）の一体は、周辺の湖沼を含めて大沼国定公園に指定されています。

【地域の課題】

管内における森林資源は、民有林・国有林ともに人工林が利用期を迎え、伐採及び再造林箇所の増加が予想される中、林業従事者の減少や高齢化が進んでいる現状となっています。この状況下を踏まえ、今後、適切に森林整備を進めるための対策を検討することが、地域では喫緊の課題となっています。

【課題解決に向けた取組】

国有林では、造林事業量の増加に対応するため、伐採から造林までの一貫作業システムの導入やコントナ苗の使用、また、下刈回数を削減するなどの各種取組を行っています。

当署においても、これら取組を主体に実行し、更なる課題解決に向け、渡島総合振興局東部森林室と連携し、造林作業等の軽労化・省力化を図るために、各市町村担当者や地域の林業事業体の方々に参加いただき、リモコン式草刈機や無人航空機による苗木運搬などの操作・体験を中心とした実演会を実施しました。



リモコン式草刈機の実演



無人航空機による苗木運搬の実演

【今後に向けて】

実演会の当日に行ったアンケート調査では、各機種の特性や操作について理解を得られた一方、リモコン式草刈機については、一定の評価を得つつも急傾斜地や伐根、凸凹地への対応を危惧する意見がありました。

今後は、様々な意見を反映させるため、関係機関と情報共有・意見交換しながら諸課題の解決に向け、現地検討会や勉強会などの取組みを継続していきたいと考えています。